

宇治市教育委員会定例会会議録

日 時 平成28年5月26日(木) 午後5時30分 開議

場 所 宇治市役所 501会議室

会 議 日 程

日程第1 会議録署名委員の指名について

日程第2 会期について

日程第3 教育長報告

会議に付した事項 会議日程に同じ

出席者

(教育委員)

委 員 長	西 野 正 博
委員長職務代理者	金 丸 公 一
委 員	中 筋 斉 子
委 員	小 山 栄 子
委員(教育長)	石 田 肇

(出席職員職氏名)

部 長	澤 畑 信 広	副 部 長	伊 賀 和 彦
参事(兼生涯学習課長兼生涯学習センター所長)	藤 原 千 鶴	教育支援センター長	瀬 野 克 幸
教育総務課長	縄 手 弘	学校教育課長	井 上 宜 久
一貫教育課長	金 久 洋	学校教育課副課長	三 村 敦
一貫教育課副課長	市 橋 公 也	一貫教育課総括指導主事	辻 弘 一

(書記職員職氏名)

教育総務課企画庶務係長	上 田 ひ と み	教育総務課主任	高 木 紗 代 子
-------------	-----------	---------	-----------

開 会 (午後5時30分)

開会宣言 委員長が5月教育委員会定例会の開会を宣言する。

日程第1 会議録署名委員の指名について

委員長から宇治市教育委員会会議規則第13条第3項の規定により、中筋委員を指名する。

日程第2 会期について

委員長から1日限りとする旨の提案があり、全会一致で決定する。

日程第3 教育長報告

- (1) 文教福祉常任委員会について(平成28年5月12日)
- (2) 平成28年度宇治市教職員研修講座について
- (3) 平成28年度宇治市教育研究員事業について
- (4) 宇治市教育委員会後援事業について

以上4件を報告する。

[説明]

(1) 文教福祉常任委員会について(平成28年5月12日)

車両事故に係る専決処分の報告について

事故発生日時は、平成28年1月28日午前9時30分頃、事故発生場所は府道小倉停車場線沿いフレンドマート宇治南店の南東に位置する宇治戸ノ内交差点を100m程度南下した、市道宇治園場線沿いである。事故の概要は、学校教育課職員の運転する公用車が方向転換を図った際、後方の安全確認不足により、民家のブロック塀に接触したことによる物損事故である。

平成28年4月27日に相手方との示談が成立し、ブロック塀等の補修による損害賠償の額が、7万3440円となった。なお、本損害賠償額については、全国市有物件災害共済会の保険によって全額補填される予定となっている。

また、今回の事故を受けて、再発防止のため、当該職員には厳重注意を行うとともに、安全運転講習を受講させ、あわせて、学校教育課職員全体に安全運転の励行と安全確認の徹底するよう指導をおこなったところである。

(2) 平成28年度宇治市教職員研修講座について

本市学校教育の抱える諸課題について研修を深め、指導力の向上を図ることを目的とし、本年度は33講座を計画している。内訳は、「一般研修」を26講座、「専門研修」を2講

座、「情報教育研修」を5講座となっている。本年度の特徴としては、「学力向上・人材育成・保幼小連携・小中一貫教育・道徳教育・小学校外国語・宇治学」が挙げられる。「人材育成」については、初任者・中堅教員・管理職に対して、課題に合わせた研修を実施する。「保幼小連携」については、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続や、一貫した支援がすべての幼稚園・保育所・小学校で重視されるように、内容の充実と受講の広がりを図る。小中一貫教育については、小中一貫教育市費負担非常勤講師対象の研修を充実させていく。次期学習指導要領で教科化が進められる道徳教育及び小学校外国語については、国の動向を踏まえた研修を実施する予定である。平成29年度から現場で副読本を活用する宇治学に係る研修、2年目を迎える宇治茶体験充実のための実習等は、外部講師を招聘して推進していく。最後に、学力向上については、指導力向上をねらった授業改善につながる講義・演習を連続的に実施していく。

(3) 平成28年度宇治市教育研究員事業について

研究員は本市学校教育の充実・振興を図るとともに教職員の積極的な教育研究活動を推進するために活動を行っている。学校教育の現状と課題及び教育内容と指導方法に関する調査・研究、生涯学習センターが実施する各研修講座の教材作成等の協力、宇治市教育委員会が依頼する調査・研究を行っている。

本年度は、本市教育の重点課題である「学力向上」研究部会、副読本作成に向けて研究が加速する「宇治学」研究部会をはじめ5つの部会を設置し、各部会6、7名ずつ総数31名の研究員を委嘱している。「人材育成」の観点を意識し、ベテランの識見と中堅・若手の熱意が融合した研究の展開を念頭に、年齢構成は、50・60代が7名、40代が9名、30代が12名、20代が3名と前年度に比べて若干若返っている。具体的には50代が減り、30・40代が増えている。これまでの研究の成果の上にさらに工夫・改善を加え、各部とも精力的な活動を期待しているところである。

(4) 宇治市教育委員会後援事業について

宇治市バレーボール協会主催の「平成28年度宇治市バレーボール協会主催事業」ほか17件、計18件の事業について後援した。また、宇治市教育委員会共催事業として、第71回(第72回)国民体育大会近畿ブロック大会京都府実行委員会の「第71回(第72回冬季)国民体育大会近畿ブロック大会」の事業について共催する。

[質 疑] なし

閉会宣言 委員長が5月教育委員会定例会の閉会を宣言する。

閉 会 （午後5時40分）